

生徒指導だより

令和7年5月
(発行者) 山城 圭介
火災避難訓練

5月1日(木)に火災避難訓練が行われました。実際に火災が起こった時に、どう行動したら良いのか、自分たちがやるべきことは何かを一人一人、真剣に取り組み、自分達の安心・安全な生活のために大切な行動について考えることができました。地元消防団の宮里幸四郎さん、津田隆人さん、与那覇大二郎さん、宮島えいすけさん、お忙しい中、講話や放水、消火器の使い方などアドバイスを頂きました。本当に感謝です。ありがとうございました。



生徒の振り返り

○避難訓練をして年々火災関係の注意力がまわっているのだからいいなと思います。ですが消火器の実施訓練みたいなもので草に向けて消火器を噴射してしまっていたので次体験するときは正確に噴射したいです。

○今日の、消火訓練で消火器の使い方を学びました。毎年やっているものだけど、今回は校舎も遠くて、とてもパニックになりました。次からは、その建物の、避難ヶ所を調べて過ごしたいです。

○今回はくるってわかってたから冷静に避難できたけど消防団の方も言っていたけど実際にあったときは冷静に避難できないと思ったので避難の仕方はもっと改善が必要だと思いました！また、消火器の使い方についても学んで実際に消火器に触ってみたいとわからないこともあると思ったから来年は消火器に触りたいなと思いました！

○火災訓練を終えて、消防車が実際に消火しているところも見ることができたし、消火器の使い方にも知ることができて、良かったです。今後もし火災がおきた際には慌てずにしっかり対処していきたいと感じました。本当に火事が起きたときは今回のようにしっかり避難できるかわからないので学校生活でもいつ起きるかわからないということを頭に入れて災害から自分の命を守るようにしたいです。

○消火器の使い方は毎年習っているけど、今日改めて覚えました。来年からは島立しなれない環境に行くけど、伊平屋で学んだ訓練の仕方をしっかり守り、意味のある学びとして活かしていきたいです。

○初めて消火器を持って火を消してみたら、意外と重いということを知れてよかったし、私は島立ちしたら一人暮らしになると思うからこういう知識を体験して身につけることができたから良かったなと思った。

○自分は、料理をしているときに一回炎上させてしまったことがあったので、今回の火災避難訓練を終えて経験になったことがたくさんあったので、今後もこの経験を大切にしていきたいです。

○火災が起きたときにはただ外に逃げるだけでなく、その日の風向きや火元のことを考えながら避難しないといけないとわかりました。

つながり
ひろがり
共に学ぶ
伊平屋の島発ち教育